

# 豪華な舞台設定、迫真の演技



## 大鹿歌舞伎に観客陶醉



第620号  
 発行人 ● 豊丘村公民館 唐澤克己  
 編集人 ● 長野県下伊那郡 豊丘村公民館 編集委員会  
 0265-35-9066  
 印刷所 ● 龍共印刷株式会社

私たちの村  
 (10月1日現在 ※外国人を含む)  
 男 3,442人  
 女 3,568人  
 総人口 7,010人  
 世帯数 2,042戸

# 客席と役者がひとつになって 「大鹿歌舞伎とよおか公演」大成功

九月十七日に豊丘中体育館で村の文化事業「大鹿歌舞伎とよおか公演」が開催され、村内外から参集した約五百名の観客は、大鹿村の由緒ある伝統芸能を堪能しました。この事業の実行委員長さんと出演者の竹本登尚太夫さんに、感想を寄せていただきました。

実行委員長  
 壬生

前日の十六日は、午後二時にスタッフが集合し、舞台脇の花道を走り回りました。三時間ほどで大体の舞台が仕上がりましたが、当日午前十一時ころには会場もグラウンドの駐車場も全て準備が整い、開演を待つばかりとなりました。昼食を済ませたころにはお客様がだんだんと集まって来られ、暑い中、待っていてくださるお客様に心から感謝です。開場を二十分早めて体育館の扉を開けると、三千〜四十人ほどのお客様が一気に入場し、公演が始まるころには会場いっぱいになりました。

公演が終わってお帰りになられるお客様から「本当に良かった」「思わず泣いてしまった」等の声が聞かれました。村内外から約五百人のお客様にご来場いただき心より感謝申し上げます。我々文化事業実行委員十二名は、毎年がんばっておりますが、それぞれ仕事をもちながらのため、人手不足に苦慮しています。スタッフとしてお手伝いしていただけの方がございましたら、公民館までご連絡いただければ幸いです。

大鹿村  
 竹本登尚太夫

豊丘公演も無事終了、ホッと息づくまもなく大鹿中学校歌舞伎発表会を間近に控えた中、豊丘村教育委員会の原係長さんより館報の原稿執筆依頼がありました。

ふだんは、見られた方の感想を楽しみにさせていたただく立場であり、公演したものがえらそうに書くのはいかなものか、と思いつつも「お世話になつた豊丘の皆さんのご依頼とあらば！」と調子よく引き受けるお人よしにも程がある自分にあきれつつ、紙面を汚させていただきます。

今年五月の下伊那教育会総会公演から二回目の出張公演となった豊丘村大鹿歌舞伎公演は、今年の気候を象徴するような残暑の中、その暑さに勝るとも劣らない熱い声援に包まれました。

今回の出し物は、「神靈矢口渡 頓兵衛住家の段」です。大鹿歌舞伎の中でも得意中の大得意、十八番です。大鹿歌舞伎の醍醐味は、客席と舞台の役者が一つになつて歌舞伎をつくりあげること。役者の熱演に声

飛び、その声に添えて更に演技に熱がこもる。その演技にさらに会場が沸き立つ。見物はけつして孤立しない。役者と一緒になつて舞台に参加できること。大鹿歌舞伎の見物が、虜となり夢中になる絶対的な法則です。

この大鹿歌舞伎の世界が、豊丘中学校体育館にも出現しました。まさに、五百人にも及ぶ見物の皆様のおかげでした。



名演技に思わずうっとり

# 努力実り、見事に栄冠

市澤輝之君、「マイクロロボコン大会」で優勝

飯田工業高三年  
 市澤輝之

河野(筏)の市澤輝之君、飯田工業高三年が、九月八日に埼玉県で開かれた「マイクロロボコン高校生大会(日本工業大主催)」で見事優勝しました。大会には、全国から十八校九十四名の百二十五台が出場し、激戦の末、市澤君が栄冠に輝きました。市澤君、本当におめでとうございます。

私が「マイクロロボコン高校生大会」で優勝することができた一番の理由は、仲間の力があつたからだと思います。自分の作ったマシンだけではここまで勝ち進むことはできなかったと思います。一寸四方の小さいロボッ

トのため、自分一人ですべてこなすことは非常に大変でした。行き詰ったときは自分だけではなくチームのメンバー全員と協力して各部の白線を読み込むセンサー調整、ロボットのプログラムのパラメーター変更など、仲間と協力して取り組むことができました。個々の持っている得意分野を組み合わせる

ことで問題を解決することができたと思います。「自分一人ではできないことも仲間と協力することで乗り越えられる」ということを今回の大会で学ぶことができました。先生はじめ多くの方の支えに感謝の気持ちでいっぱいです。

飯田工業高校最後の年に優勝し、名前を残すことができ、本当に良かったと思います。



優勝旗が市澤君の手に

四季の移り変わり、天童川の川面を舞う様々な鳥木々の彩りの変化、マレットゴルフの打球音、道々出会う様々な人々、家々の灯りなどから感じる夫々の生き方、漫然と脳裏をよぎる考えや空想。

日本はどうなるんだろう。原発問題など地元での了解たけでいいのか、地球規模で考えなくてはいけないのでは等々。暗くなる気持ちを抑えて大きな空を見上げて深呼吸すると幾分楽になる。雨が降っている。一人傘をさして歩道を歩いている。水が飛沫となって我が身にも。轍をよけて走る車、スピードを落とす走車、運転者を見なくてもその人柄が見えるようだ。細い道を車が進んで来る。道端に寄って待つ、笑顔で挨拶してくれる人、軽く会釈したり、片手を上げて挨拶してくれる人、気づかないかのように走り去る車。

お互い歩いている。目を合わせ明くる挨拶出来た時の嬉しさ。目も言葉も通じなかった時の空しさ。

夜道を歩いていた。向こうから誰かが歩いて来る。立ち止まって挨拶してくれた。こちらは相手がどなたか分からなかったのに。嬉しい出会い。

車の通らない山道、荒廃した元耕地、蔓草に覆われた木々。時代とは言え淋しい。この豊丘の片隅にも様々な人間模様映っている。(目下部富次)

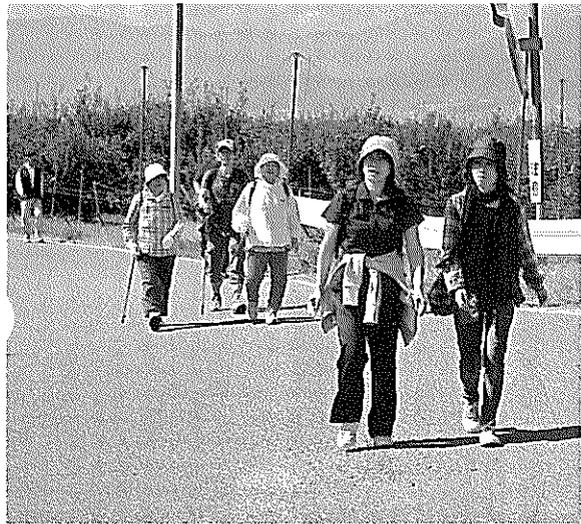
# ウォーキングで秋を満喫

## 魅力満点の「だんQくん健康ウォーキング」

十月八日、林原木門「ミニニティセンター」駐車場を基点にして、「だんQくん健康ウォーキング」が行なわれました。村内外から参加した老若男女多数の方々はいっぱい吸い、うららかな陽ざしを全身に浴びて、秋色漂う広域農道沿いのウォーキングを心行くまで楽しみました。

中川村 宮崎志保美

中川村より参加させていただきました。私は中川の公民館で行なっているウォーキング教室でこの「だんQくん健康ウォーキング」のことを始めて知りました。講師の酒井先生の強いお勧めもあり、同じ講座の方や職場の方と共に参加させてい



ゆったりと道を歩けば秋が語りかける

ただくことになりました。豊丘村は通ったりしたことはありましたが、このような催しに参加するのは初めてで、主だった建物や地理等を全く知らずに来てしまいました。いざ来てみると、係の皆さんの明るい挨拶があり、緊張もほぐれてきました。今回は10kmのコースに挑戦しました。ぐるっと周囲ではなく往復するコースでしたが、これが実に良く折り返してくる方々が声を掛けてくださったり、こちらからも返したり、そんなやり取りがとても嬉しく、

又、元気をもらうことができました。小学生の元気な走る姿にも「速いねー」と感心しながら自分たちの足も速度を上げ、残すは二・五kmの折り返し点まで辿り着きました。さすがに足が棒のようになってきて、日ごろの運動不足を痛感しました。この後のお昼ご飯のことを楽しみに、残りの道程を歩き、やっとゴール。約二時間弱で10kmを踏破しました。歩き終わってみると達成感と疲労感を同時に味わい、後々この原稿を書いている二日後でもまだ筋肉痛の足を引きずっている状態です。

最高の天気にも恵まれ、気持ちの良いウォーキングができました。ありがとうございました。豊丘村バンザイ!

# 花火舞い神輿踊る

## 河野大宮神社の秋祭り

実りの秋の訪れを神々に感謝して、十月には村内各神社で秋祭りが開催されました。十月七日、八日に盛大に実施された河野大宮神社の秋祭りについて報告していただきました。

河野大宮神社 筒井宏司

河野大宮神社の創立は不詳であるが、平安時代の西暦八〇〇年頃鎮座されたと伝えられていて、明治四十二年、村内の各神社を合祀して大宮神社となった。祭事は年十三回あり、特

に大きな祭りは、元旦祭と、春と秋の大祭である。春には、約百五十年続いている獅子舞とお囃子があり、近年では、北小学校の児童による子供お囃子も加わる。そして、他地域ではあまり見られない河野独特の九十年にわたる壮丁踊りが奉納され、満二十歳になる若者が踊る。



まさに勇壮、迫力が伝わってきます

秋は、長い間、舞踊や映画や青年相撲だったが、時代とともに娯楽的な奉納がなくなり、平成七年頃より、神輿の競いと花火になった。十二ある自治会が、それぞれ

九月より、大人と子供の神輿を準備する。当日は、河野の北と南より県道を練り歩き、神社で合流して大三国花火に点火する。その花火の下で、特に若い担い手達が、競争で練り歩く。それは実に壮大である。河野地区では、お盆の河野夏祭りや、

今年で五十四年も続いている区民運動会とともに、この秋祭りは、区民一同が参集する大イベントである。秋祭りは、毎年盛んになり、心よりどころとして氏子約四五〇戸に親しまれている。この大宮神社の伝統を今後も守っていきたいと思います。

## 史学会コーナー

### 郷土の遺産 シリーズ(32)

# 田村大井の今昔

城 片桐博一

芦部川からの取水にて、田村区の中段や下段地籍の農地のほか、生活用水、防火用水も、年間通水しており、住民の皆様は、水の有難さを感じておられること

と思えます。田村大井の記録は見当たりませんが、明治初期より住民の皆様による出役で出来たと思われる。取水口より北村地籍(北村十字路)までが、田村

大井の管理区域になつていて、この地点より二つの水路に分かれます。すなわち、左の水路は北村、城南市場を通り、右の水路は北村、北市場一、北市場二を通る形になり、これらの地域は年間を通し潤っており、

田村大井は、当初より田村区で管理し、区の事業として維持してきました。しかしその後、昭和四十九年度より利用戸数二八五、耕作戸数一一五、耕作面積二〇町歩余をもって、利用者

で管理運営を行うようになり、現在に至っております。水路も年月が進むにつれ修理箇所も多くなり、昭和六十年に一期工事として、北村より横山の間をボック

安全な通水が出来るよう祈

願して記念碑も建立しました。今考えてみますと、地域が自力で改修を行なうことは大変しく、当時の中

村関係では、当時の唐澤村長、菅沼村長、松村村長の御三方様にも絶大な指導をいただき、この井水工事が完成したことを忘れてはならないと思います。耕作者としては、芦部川



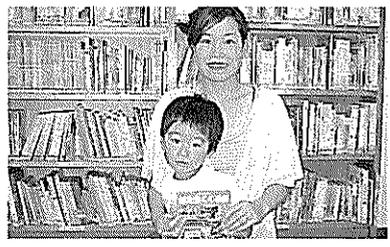
せせらぎが心地よい一北村のトンネル出口

の水量が少ないため、田植え時期には、小渋の水の増量をお願いしたいと思えます。田植え前後の若い稲にとつて水を枯渇させることはできません。今後よろしくお願いいたします。水は皆さんの財産です。大切に使うてください。

中 芝 春日志穂

## 読書の楽しみ ●●● 子が親に読み聞かせも

私たちは、読書を通じて、豊かな知識や情報を得るだけでなく、間接的な体験もできます。現実の人生では限られていても、読書により、たとえばその本の主人公となって、様々な人生を体験できるのです。読書の魅力を、ぜひ親子で共有してはいかがでしょうか。



本を通じて心のふれあいが

しまつた事に、少し寂しさを感じていました。

丁度その頃、保育園から毎週金曜日に自分で選んだ二冊の本を借りてくるようになり、朝は慌ただしく、夕方私は仕事から帰るため、今までのように子供とふれ合える時間が少なくなつて

「今日何の本借りてきたの?」と、家に入るなり本を見つ、「うわっ」と目を丸くして喜び、すぐに「これ読んで!次はこれ!」と、借りてきた十冊の本を全て読んでしまう程本が大好きになりました。寝る前には毎日二冊の本を選んで、布団の上で読むのが習慣になりました。何も言わず真剣に聞いている子供と過ごす、寝る前の少しの時間。忙しい毎日だけれど、本の読み聞かせを通して、子供と出会う、新しい発見をしていきたいです。

間が、子供とふれ合える大切なひとときになりました。同じ本でも読む人が違えば変化があります。「今日はパパ読んで」と最近よく言うようになり、自分が読んで聞かせる時も、自分が読んで聞かせる時とは違って、面白く新鮮に感じます。絵本は家族みんなで楽しめてとてもいいなあと感じました。

また字が読めない子供が、内容を覚え、座って小さなひざの上にのせると自分より大きいような本を、絵を見ながら私に読み聞かせをしてくれる事があります。一生懸命なその姿。絵本を通して、子供のいるような面を見せられました。これからは図書館でたくさん本と出会い、新しい発見をしていきたいです。

# 息詰まる熱戦が和やかに

## 夜間ソフトバレーボール大会が終了

七月中旬に始まった夜間ソフトバレーボール大会が、女性の部は十月三日に、混合の部は十月六日に、それぞれ終了しました。延べ四か月にわたり、息詰まる熱戦が、さわやかに、和やかに、展開されました。試合中、チームメイト同士で励まし合っている光景が、どのチームにも随所に見られ、チームワークはそれぞれ抜群でありました。この大会が、さらに拡大発展していくことを期待します。



女性の部を制した「河野フレンドC」

優勝は「バストA」と「河野フレンドC」

大会には、混合の部に十チーム、女性の部に八チームが参加し、いずれの部も大接戦の結果、優勝はそれぞれ「バストA」と「河野フレンドC」に決まりました。順位は次の通りです。

### 〈混合の部〉

- 1位 バストA
- 2位 ちむくマシロ
- 3位 ウエスト
- 4位 ヒップ
- 5位 ハミングバード
- 6位 バストB
- 7位 TVOリンクパナサイズ
- 8位 天恵
- 9位 グッド
- 10位 カッターズ

### 〈女性の部〉

- 1位 河野フレンドC
- 2位 河野フレンドA
- 3位 ほほえみB
- 4位 河野フレンドD
- 5位 河野フレンドB
- 6位 すうばあどらいず
- 7位 HeySeey7
- 8位 ほほえみA

## ドキドキが楽しさ

### 河野フレンドC

#### 原のぞみ

今年初めて夜間ソフトバレーボール大会に参加させていただきました。

七月十八日に開会式があり、河野フレンドCチームが選手宣誓をしました。私自身、昨年の五月からクラ

ブに加入させていただき、河野フレンドの皆さんにプレーやルールなど教えていただいています。まだ慣れなくてボールがあつちこつちへ行ってしまうことも多々あります。

選手宣誓から始まり、試合当日は、ずつと緊張感とドキドキが止まりませんでしたが、チームの皆さんの励ましやアドバイスをい

ただき楽しく試合に臨めました。試合のときはどのチームも熱意が伝わり素晴らしいかったです。

リーグ戦最終日、十月三日の閉会式で結果発表があり、なんと「優勝」でビックリしました。そしてとても嬉しかったです。来年も優勝できるかわかりませんが、上達できるような頑張りたいと思います。

**こちら資料館** 125  
「信州の創作童話の世界」  
北島新平展

北島先生は多くの童話や民話の挿絵を描かれています。代表的なものとして、昭和四十六年に、信州の子どもたちに直接手渡されるように各学校を通して頒布されました。

して、年少少女向けの雑誌「とうげの旗」があります。昭和四十六年に、信州の子どもたちに直接手渡されるように各学校を通して頒布されました。

この賞も、地域に根ざした活動として高い評価を受けましたが、平成十八年の十回を最後に終了しました。



いずれも北島先生の絵が楽しめます

「伊那谷童話大賞」も先生の挿絵が大きな役割を果たしています。特別審査員として賞の選考に当たられると共に大賞や入賞作品の挿絵も手掛けておられます。

**それぞれに特色生きて**  
— 9月22日、小学校運動会



# オール南豊リーグ7連覇

今年のナイターソフトボール大会が、九月中旬に閉幕しました。数か月に及ぶ長丁場の大会ですが、村内各地域から幅広い年齢層が参加して激戦を繰り広げ、村の活性化に大いに貢献しました。理事長さんに大会の総括をお願いしました。



表彰された上位チームの代表者の皆さん

### 理事長 長谷川 義久

第四十二回ナイターソフトボール大会の閉会式が行なわれ、豊リーグは「オール南」が十八戦全勝で七大会連続優勝、準優勝「御手形クラブ」、三位「いくに会」。

今年から試合の時間制限を廃止しましたが、当初心配された夜間照明消灯等による再試合は一試合のみで無事終えることができました。

### 教育長 筒井 良二

十七試合が不戦敗となつてしまつた。

その他多くの問題を抱えながら、十八歳から八十歳代まで同じグラウンドでプレーでき、年齢を超えた地域の繋がりができる大変素晴らしい大会だと考えます。

# 村内の山野に自生

## クダザキヤマジノギクの紹介

### 教育長

#### 筒井 良二

村内の山野に分布しているマジノギクの一変種で、九月から十月に開花します。研究者によってツツザキヤマジノギクとかイナノギクとも呼ばれています。

花の舌状花弁が、管状に変化移行する数次の段階が観察できる植物形態学上たいへん珍しいものです。今は、だんだん少なくなつてきており、村の文化財にも指定されたおり、保護や保存が必要です。

全国的には、本州中部以西の暖地と四国や九州に分布しています。村内では標高四百五十メートルから九百メートルの山野にありま



資料館の庭に咲きました

### 南小

賑やかに勢揃い — 開会式

### 北小

少数でも激戦 — 短距離走

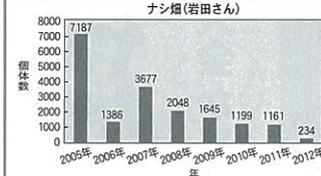
# ~シリーズ~ 豊丘の自然

No.108

ツチアケビ(ラン科)



アブラゼミの発生量(2005年~2012年)



事物の存在を認識する上で、色は欠かせない。そこで、もう一度、ツチアケビを紹介することにした。今年の数も大事だ。今年が、セミの少なさを記録しておくためにグラフを作成した。理由は今のところ、まったく分からないのだが。(山田 拓)

# 岩肌を伝う水の躍動感

## 9月16日、ふるさと見て歩き「新九郎の滝」

北村 片桐みどり

夫婦で参加させていたいただきました。二人とも新九郎の滝は初めてで、村民ですが旅行者気分です。楽しめました。

リュックには、大切なおむすび、新九郎の滝を美しく撮るためのカメラを入れ、足元は長靴でバッチリ決めて、いざ出発!

沢沿いに片道八百m、下界は暑かったのですが登山道に入った途端「涼しい」、いや寒いくらいの澄んだ空気でした。木々の緑が濃く、サワサワと吹く風に、その色が優しい緑色やさわやかな緑色に変化します。そして、岩が削られた窪みに水が流れ、その水の色の美しさは心をホッとさせてくれました。

新九郎の滝は、荒々しく、



晴天続きで水は少なくとも心が洗われました

そして美しい滝でした。「来て良かった」のことが自然と口から出ました。この日は水量がかなり少ないとの説明があり、いつもは水しぶきでマイナスイオンをいっぱい浴びることができようです。それでも岩肌を伝って流れる水は躍動感が伝わって来ました。ありがたうございました。

## お知らせ

### ぜひ大勢の方に見学を! -公民館、資料館より-

公民館では、毎年恒例になっております文化祭と「とよおかまつり」に関連したステージ発表を実施いたします。公民館には、現在約六〇の登録グループがあり、年間を通じて熱心に活動し、地域の文化の振興発展と会員自身の技能の向上に努めております。今回、その中のいくつかのグループを中心に、村内の有志の方々や団体を加えて、展示や実演、ステージでの発表

### 公民館は 作品展と ステージ発表

公民館では、公民館グループの皆さんの、一年の活動の成果を発表する作品展と、とよおかまつりでのステージ発表を開催します。

作品展は十一月四日から十一日まで、総合福祉センター全館で「写真・木目込み人形・盆栽・植物画・絵手紙・川柳・俳句・短歌・押し花・楽趣会・小中学校きずな・個人出展」の作品が展示されます。十日には、お茶会も催されます。

また、とよおかまつりの特設ステージでは、十日午前十一時から十一日午前九時三十分からステージ発表があります。「豊丘太鼓・フランドス・カラオケ・コーラス・パッション・三味線・ダンス・サブニユマ・花架拳・剣道クラブ」の皆さんが出演します。

丹精込めた作品の数々、いろいろな公民館活動を是非ご覧いただき、来年はあなたも参加者になってみませんか。

### (豊丘川柳クラブ豊柳会)

▼課題「報」互選  
三日前話した人の訃報受く  
報われて努力の証メダル嘔む  
戦争の報復今だ背負つてる  
御苦労さんそのねぎらいで報われる  
吉報を待ちつつ期待に胸騒ぎ  
▼課題「保」互選  
保険証使わぬ人にご褒美を  
親の保護断つて若者ひとり立ち  
国民を忘れ保身の金バッチ  
ふるりの知恵と伝統保存食  
▼自由吟 桃沢 健介選  
伝統の祭りが過疎を活気付け  
追い風の維新の餌に群れる雑魚  
国民のいらだち知らず党首選  
軸吟：反日に名を借り不満ぶちまける

吉川 燎  
宮島 昭三  
泉 久子  
西元 峯子  
宇井恵美子  
久保ひろし  
桃沢 健介  
林 桃子  
市沢 照子  
今村 礼風  
福沢 勝美  
原 美風

### 資料館は 北島新平作品展

歴史民俗資料館は十一月九日から十一日まで、保健センター二階で、「伊那谷のまつり」というテーマで、「北島新平作品展」を開催します。

この作品展は、十一月九日午前十時からオープニングセレモニーに始まり、主として「作品展」と「お話しコーナー」の二つで構成されています。「作品展」は、北島先生よりお借りした絵本など、七十点を展示します。「お話しコーナー」では、北島先生の挿絵本の読み聞かせを、十日と十一日(午前十時及午後二時より)に行ないます。ぜひおいでください。

## 俳句 短歌

総立ちの竜胆届く誕生日  
驚草の夕闇舞ひいで母忌日  
店頭へ野菜売られて畚の籠  
あかときの風に煽やの秋ざくら  
土手に立つ我忘れての蝨蠍  
朝顔の蔓どこまでも夢のぼし  
單線をつなぎ何処まで蕎麦の花  
採り茄子の鳴き声ありて籠に満つ  
砂煙カメラの中へも草競馬  
開かんと蓄こそれる醉芙蓉

中山 寿子  
北原 昭子  
磯部セツ子  
田中 静  
三島 保子  
三島 里子  
水野 里子  
木下 眞水  
和地 睦夫  
水野 近義

### 公民館短歌会

もの言えぬ夫の手足を娘とさする看護師の指示もるりハビリ  
ゆつくりと朝は夫婦で散歩する歩け歩けを口ずさみつつ  
取り入れの多忙きわめる秋むかえ暑さに伸びた夏の恋しき  
舞う蝶とスキップする児が追いおわれ自然の中の出合いをあそぶ  
ともすれば危ういこととおもいつつ夜のコンビニに向かわんとす  
八十歳に近き妻より年若の人の痴呆はただた哀れ

壬生 千春  
中島 一彦  
北沢 秀子  
毛涯百合子  
大倉 知江  
富永 博道

### 八日会

敬老会に久びさに合う友達にお元氣でしたかと手をさしのべる  
会の果ては歌舞伎のセリフで座を立ちし友は去りゆく過疎の村から  
原爆忌に平和の祈り広島に行かれぬわれば折鶴托す  
並木路に熱氣溢れてりんごんの飯田のパワー夜空に響く

織田大原  
河原梨花  
松島八重  
紅 梅